

# 大腸内視鏡検査のご案内

大腸内視鏡検査は、内視鏡を肛門より挿入し、直腸から盲腸まで大腸全域を観察します。粘膜面の異常を細かく調べ、時にはその場で治療を行うこともできる精度の高い検査法です。

## 1. 持病や服用薬について

安全でかつ正確な診断や治療が行えるように、下記の点につきまして十分にご理解ください。また、何かご質問がございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

糖尿病、高血圧、狭心症、不整脈、脳梗塞、甲状腺機能異常、緑内障などで治療中の方は、事前にならずその旨をお伝え下さい。検査に影響の出る薬（血糖降下薬、血栓予防薬など）は、事前に飲み方の相談をさせていただきますので、別紙にご記入の上、お申し出ください。高血圧の薬は原則としていつも通りに服薬をして下さい。

## 2. 検査当日の注意点について

検査当日は前処置も含めて1日がかりとなりますので、時間のゆとりをもってお越し下さい。腹部手術歴のある方や、腸管の緊張の強い方は、挿入時に痛みや腹部膨満感が出現しやすいので、安定剤や鎮痛剤を使用する場合がございます。このため検査当日は、ご自分で運転しての車での来院はご遠慮下さい。検査後は夕食よりお食事が可能となりますが、腸管内にガスがたまっていますので、ガスが出て膨満感が消失した後より軽い食事を開始して下さい。

## 3. 検査・治療に伴う偶発症とその対策について

内視鏡検査や治療による偶発症として、出血や穿孔があります。全国集計での頻度は、大腸出血が0.007%、腸管穿孔が0.02%程度報告されています。特にポリープを切除した場合には起こりやすいので、治療の際には細心の注意を払って行わせて頂きます。またそのような偶発症が発生した場合には開腹手術が必要となることもあります。

## 4. 大腸ポリープ切除について

検査中に腫瘍性病変（ポリープ）が発見された場合、その場で病変を切除することができます。腫瘍性病変の場合、その一部に癌化していることもありますので、取り残すことなくまるごと切除することが重要です。ポリープを切除する際には、痛みは全く伴いません。取り残しを防ぎ、出血や穿孔といった偶発症を防ぐ目的で、粘膜切除術という方法をとっております。詳しくは外来で直接説明させていただきます。

## 5. 検査・治療の費用について

健康保険の対象となります。3割負担の方では大腸内視鏡検査だけの場合で約12000円、ポリープ切除術の場合、2~3万円が必要となります。（ポリープの個数と大きさによって異なります。）なお、ポリープ切除術は生命保険の給付対象になる場合がありますので、必要ならば生命保険会社にご確認下さい。

## 6. その他

当日は、念のため替えの下着と靴下をお持ち下さい。体を締めつけない楽な服装でお越し下さい。何かご質問がありましたら、いつでもご連絡下さい。

# 大腸内視鏡検査の同意書

■ 持病と服薬のご確認  持病なし

糖尿病  高血圧  狭心症  不整脈  脳梗塞  甲状腺機能異常  
 緑内障  前立腺肥大症  その他（ ）

■ お飲みになっているお薬（服薬方法について事前に必ず相談を受けて下さい）

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

大腸内視鏡検査説明書項目につきまして、ご理解頂けましたでしょうか。  
ご不明な点は検査までに必ずお尋ね下さい。

年 月 日

説明医師 岩野 正宏 印

大腸内視鏡検査の説明を十分に理解し、検査・治療に同意します。

年 月 日

患者氏名 印